

## 船舶事故等調査報告書

平成22年3月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第221号	
事故等種類	定置網損傷	
発生日時	平成21年8月8日（土） 16時20分ごろ	
発生場所	千葉県富浦湾沖 富浦港西防波堤灯台から真方位285° 1,275m付近 (概位 北緯35° 02.6′ 東経139° 48.5′)	
事故等調査の経過	平成21年9月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船船番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報	
死傷者等	なし	
損傷	両舷プロペラ曲損、左舷舵軸曲損、船底外板擦過傷 定置網の張網ロープ切断	
事故等の経過	本船は、船長ほか13人が乗船し、神奈川県横須賀港浦賀へ向け帰航中、平成21年8月8日16時20分ごろ、富浦湾沖の定置網に進入し、定置網のロープをプロペラに巻き込み航行不能となった。 船長は、海上保安庁及び付近の漁業協同組合に通報し、来援した組合員が定置網のロープを切断して脱出した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 2 海象：平穏	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、富浦湾沖を航行中、船長が適切な見張りを行わなかったため、定置網に進入した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が富浦湾沖を航行中、船長が適切な見張りを行わなかったため、定置網に進入したことにより発生した可能性があると考えられる。	